

(様式3)

事業所名 グループホーム田沢の家

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 3 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3・5	認知症なんでも相談所を開設しているが相談がほとんどないのが現状。等事業所が認知症の相談窓口となっていることを知らないと思われる。また地域の方々に認知症について知ってもらうための活動をしていく。	地域の方々の家庭内のことやご近所のこと等事業所に来て、または出向き、認知症についての相談が気軽にできるようにしていく。	法人の広報・ホームの広報に認知症の相談窓口であることを毎回掲載。行政の協力をもらい仙北市広報等にも当事業所が相談所であることを掲載し、地域の方々から窓口になっていることを理解してもらい相談利用を増やしていく。また出張相談所等も行えるようにしていく。	12ヶ月
2	48	充実した生活を送ってもらうように個々に役割を持ってもらっているが、必ずしも生活歴や力を活かした役割とはなっていない。 することがなく暇だとの声が聞かれることもあるが、毎日、作業や活動があるわけではない。等の課題はある。	強制的にならないよう、自主性や意欲の向上を考慮し、現在行っている役割の他に2～3個、個々に出来ることを見つけるようにし、楽しく充実した毎日が送れるようにする。	職員が作業や活動を行う際に、入居者に声掛けをして一緒にやってみて出来ることを見つける。また本人や家族に自宅でやっていた仕事や得意なことを聞き、現在行っている作業の他に出来ることを見つけて充実した楽しい毎日を送ることができるようになる。レクリエーションの充実や作業、活動の場を戸外へ向けてみる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。